

待受式高エネルギー吸収型崩壊土砂防護柵工
(ネット強化型)
インパクトバリア NO-X

ノックス

東亜グラウト工業株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル

TEL 03-3355-5100 FAX 03-3355-3850

URL https://www.toa-g.co.jp/ mail info.01@toa-g.co.jp

[資料請求先] 防災グループ (技術開発室、TEL.03-3355-5100、FAX.03-3355-3850)
[支店] 北海道 (TEL.011-783-7832)、東北 (TEL.022-237-3041)、北陸 (TEL.025-285-8633)、中部 (TEL.052-842-8595)、関西 (TEL.06-6307-0880)、中国四 (TEL.082-943-7341)、九州 (TEL.092-402-0587)



実物大実験での土砂捕捉事例



設置事例

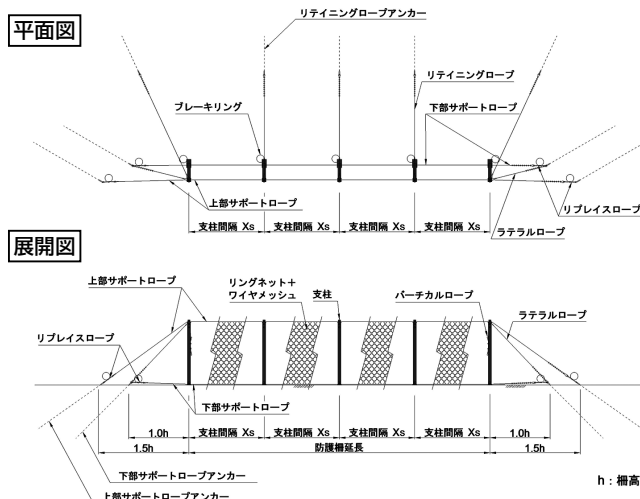
概要

- ・斜面崩壊等による土砂災害の未然防止を図るための崩落土砂対策工。
- ・崩壊土砂捕捉後の土砂搬出や破損した防護柵の再設置等では多くの労力が必要となる。また、車両通行中の道路際に設置する場合、早期解放が求められる。
- ・当工法はそれらの課題を解決するため中空鋼管の着脱式二重管構造を採用し、従来品に比べ施工性が向上している。

特長

1. 実物大の土砂実験を実施し、防護柵の安全性を確認。
2. 斜面下端からの距離(X)を0とした実物大実験で衝撃力 374kN/m²の流下土砂を捕捉。
3. 標準部材は、実物大実験で使用した部材と同仕様。
4. あらゆる斜面条件においても適用が可能。
5. 部材が軽量でコンクリートが不要な構造のため、短期間での設置が可能。
6. 平坦部造成のための切土作業が不要なため、切土に伴う上部斜面への斜面安定対策の実施が不要。

構造



実物大実験

- ・斜面上部から土砂を流下させ、土砂の捕捉性能を確認。
- ・実物大実験の結果、衝撃力 $F=374\text{kN}/\text{m}^2$ (土石の密度 $\rho=1.78\text{t}/\text{m}^3$ 、流下速度 $V=14.5\text{m}/\text{s}$)の流下土砂の捕捉に成功。

●実験概要

土砂流下条件	
斜面傾斜角	$\theta=40^\circ$
斜面高	H=20m
斜面長	L=31.1m
流下時土石密度	$\rho=1.78\text{t}/\text{m}^3$
実験柵条件	
柵延長	L=4m+5m+4m=13m
柵高	H=4m

●実験実施状況

